

■【トピックス】

K字回復！



3月決算の決算発表が出そろってきました。そこで鮮明になったのが業績の二極化です。業績を伸ばす勢力と、落ち込む勢力です。K字の右上に伸びる線（業績回復）と右下に伸びる線（業績低迷）に例えられます。

製造業がコロナ禍の前の水準に急激に戻りつつある中、非製造業である観光・飲食業などが落ちこんでいます。コロナ禍が長引けば長引くほど、この傾向は顕著になるものと思われま

■【今月のキーワード】

ESG投資

ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字を取って作られた言葉です。近年ではESGの観点から企業を分析し評価して投資するESG投資が注目されています。具体的には、環境に関してはCO2排出量削減などの環境問題対策、社会に関しては男女平等などの人権対策、ダイバーシティ、地域社会への貢献など、企業統治に関しては不祥事回避、コンプライアンス、資本効率などの観点から企業を評価して投資することを意味します。

■【ビジネス・アイ】

ESG投資！

社長 「コロナの第4波の収束が見えないね。でも業績のいい企業もあるみたいだね」

花野 「そうですね。製造業は概ねいいみたいですね。それに引き換え非製造業は落ち込んだままですね」

社長 「K字回復っていうみたいだね。株価は米国の景気が良くなるっていうんで下がっているね」

花野 「景気が良くなってくると過熱しないように中央銀行、米国だとFRBですが金利をあげます。そのため株が下がりますね」

社長 「いつも聞く説明だけど分かり難いね」

花野 「そうですね。そんな中でもEGSの観点から投資を行うファンドが増えていますね」

社長 「ESGとかSDGsとかよく聞くけど横文字だらけでよく分からないね」

花野 「短期的な利益ではなく、環境や社会やガバナンスに配慮した経営を行っている企業の方が長期的に収益率がいいということがいわれて、その観点から投資先を選別することのようです」

社長 「そうなんだ。SDGsとの違いはどんなかんじなのかなあ？」

花野 「SDGsは2015年に国連で定められた『持続可能な開発目標』で、よくSDGsは目標であって、ESGは手段だといわれますね」

社長 「いずれにしる世界の投資家の目が短期的な利益追求から長期的な持続可能性に変わって来ていると考えればよさそうだね」

■【今月の1冊】

『地域 No.1 工務店の圧倒的に実践する経営』

伊藤 謙 著

日本実業出版社 ¥1500

コロナ禍の中、中小企業もリモートワークなどIT化への対応が迫られています。しかし、具体的な始め方が分かりません。

この本では東北の中小工務店が具体的にどのようにITを活用しているのか、詳しく記載されています。どれも実践されているものばかりです。異業種でも参考になります。ITに悩める中小企業の経営者にお勧めです。



■【編集後記】

東海地方が昨年より3週間も早く梅雨入りしました。湿度が高く気分もすぐれませんが、コロナウイルス感染の拡散を防ぐには良いかもしれませんね。ウイルスの飛散距離も短くなりますし、人流も抑制されます。梅雨入りが『神風』になることを祈ります。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.171 (毎月1日発行)

●定価：2400円/年 ●発行日：2021.6.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808